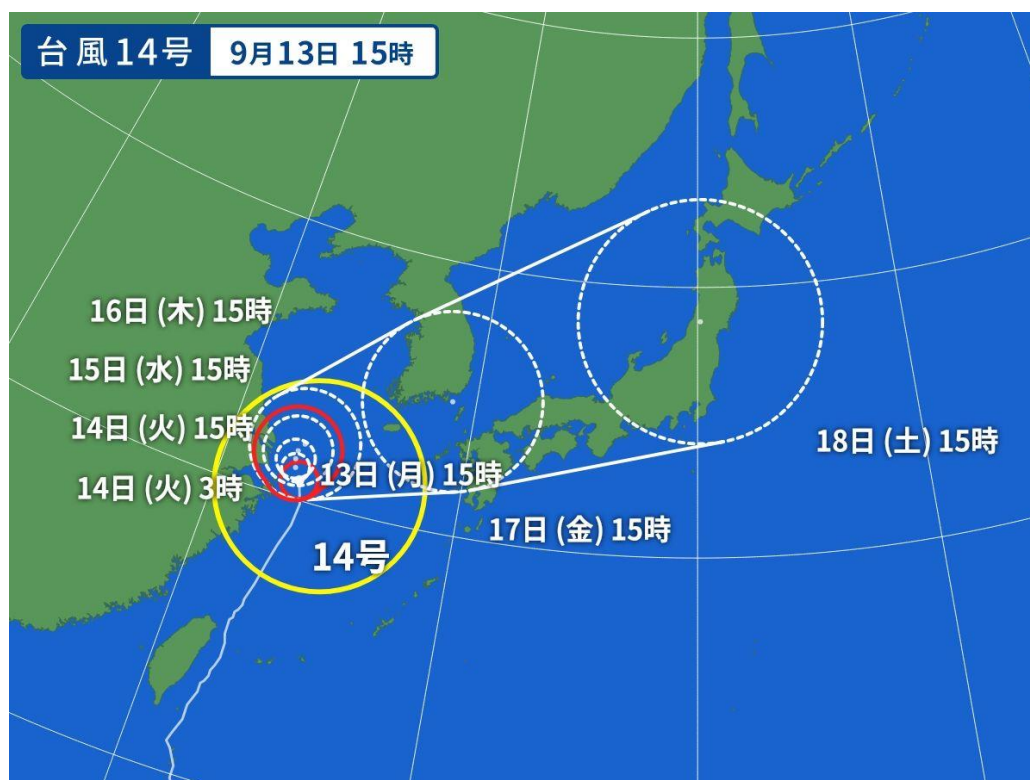


2021年9月13日

台風14号の上海空港、上海港の運用に及ぼす影響について

強烈な台風14号は、13日(月)午後3時現在、東シナ海にあって、時速30キロで北に進んでいます。中心気圧は970ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は40メートル、最大瞬間風速は55メートルとなっています。この台風は今後も東シナ海を14日(火)にかけて北上し、16日(木)は東シナ海にほとんど停滞しますが、その後は進路を東寄りに変える見込みです。

上海には、14,15日頃に接近する見通しであり、上海空港、上海港から日本への輸送便は影響を大きく受けるものと推察されます。



弊社が輸送会社から入手しました、航空輸送と海上輸送の状況についてまとめましたのでご報告致します。

1. 航空輸送(浦東空港: 上海国際空港の状況)

この台風の影響で、本日9/13午後のフライトはすべて欠航となりました。少なくとも明日9/14は上海にとどまると予想されており、その影響は更に大きくなる可能性があります。

2. 海上輸送（上海港の状況）

上海港は1日当り入港できる船舶の数が制限されており、船舶の入港待ちに拍車がかかっている状況でした。9月初旬時点で計53隻の沖待ちが発生している状況であり、現在ではコンテナ船の入港まで待機時間は8月より緩和したものの、3日から10日ほどの遅延が発生しています。

現在、台風14号の影響により12日より空コンテナのピックアップを停止し、13日より貨物のハンドリングも停止している状況です。数日間コンテナターミナルでの荷役作業がストップする可能性もあり、大幅なスケジュール遅延が予想されます

本件に関連する案件のお客様には、個別に営業担当者からご連絡いたします。

新しい情報を入手次第ご報告申し上げます。

以上